



<報道関係各位>

2013年5月8日

一般社団法人 日本化学工業協会

日本化学工業協会 長期自主研究活動  
LRI「アニュアルレポート2012」刊行のご案内

拝啓 春暖の候、報道関係の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人 日本化学工業協会(会長:高橋恭平 昭和電工株式会社社長 以下、日化協)はこのほど、化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する長期自主研究活動(LRI: Long-range Research Initiative)における年間の活動をまとめた「Annual Report 2012」(アニュアルレポート2012: A4判、74ページ)を刊行いたしました。

日化協は昨年度より、これまでのLRIを抜本的に見直し、「社会のニーズへの対応」や「業界が抱える喫緊の課題解決」に主眼を置いた『新LRI』をスタートしております。本レポートでは、『新LRI』の詳細を紹介するとともに、従来のLRIにおける最終年度(第12期:2011年9月から2012年8月まで)に実施された下記5分野の課題についての研究概要ならびに成果を報告しています。

つきましては、本レポートをご覧いただき、化学産業の自主的な活動であるLRIについてご理解賜われれば幸甚に存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

Annual Report 2012 掲載内容

1. LRIについて／2. 研究概要と成果／3. 外部発表／4. 研究報告会／5. 新LRIの今後／6. 出資会員企業／7. 2012年LRI成果報告書概要(第12期)

◆分野共通課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>－化学物質管理に関わる世界的動向のレビュー(1課題)</li> <li>－有害性評価手法の開発及びリスク評価の基盤となる毒性発見メカニズム研究(2課題)</li> <li>－新規材料のリスク評価の基盤となる、毒性発見メカニズム研究及び動態研究(1課題)</li> </ul>
◆生態(環境)毒性分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>－影響評価試験法の開発(OECD試験法開発への協力等)(2課題)</li> </ul>
◆神経毒性分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>－中枢神経系の発達に及ぼす化学物質の影響に関する試験法についての研究(3課題)</li> <li>－スクリーニング試験法の開発に役立つ基礎研究、スクリーニング試験法の開発(2課題)</li> </ul>
◆発がん分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>－非遺伝毒性発がん物質の発がん性予測法の開発(2課題)</li> <li>－化学物質の発がん性のリスク評価に寄与しうる、細胞のがん化メカニズムに関する研究(4課題)</li> <li>－遺伝毒性発がん物質の閾値に関する分子生物学的研究(1課題)</li> </ul>
◆免疫毒性(過敏症)分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>－化学物質の免疫毒性(過敏症)を適切に評価する試験法の開発研究(2課題)</li> <li>－免疫メカニズムに及ぼす化学物質の影響とその作用機序に関する研究(3課題)</li> <li>－免疫学的な機序の関与が不明な過敏症に関する研究(2課題)</li> </ul>
◆リスク評価の精緻化分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>－総合的リスク評価手法の開発(1課題)</li> <li>－化学物質の総合的情報集約とその解析方法の開発(2課題)</li> <li>－化学物質の曝露・体内動態と生体応答を予測する手法の開発研究(2課題)</li> </ul>

『新LRI』について

『新LRI』では具体的に取り組む分野を、①新規リスク評価手法の開発・評価、②ナノマテリアルを含む、新規化学物質の安全性研究、③小児、高齢者、遺伝子疾患などにおける化学物質の影響に関する研究、④生態・環境への影響評価、⑤その他、緊急対応が必要とされる課題の5つに設定しました。第1期の委託研究課題として指定課題を5件、公募課題は応募61件の中から9件を採択し、2012年11月より委託研究を開始しています。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

一般社団法人 日本化学工業協会 広報部 高橋・高水 TEL:03-3297-2555